

功績調査部

軍機

軍艦瑞鶴戦時日誌

海軍機密第十二號

自昭和十九年十月一日
至昭和十九年十月二十五日

表紙裏表紙共十三枚

十月二十日提出

2/8

瑞鶴

ZUIKAKU

軍艦瑞鶴



0286

目次

- 一 作戰經過概要
- 二 人員現狀
- 三 令連報告等
- 四 參考(略)
- 五 船体兵器航空殘屑等(略)



艦内計	海軍功績調査部長	吳鎮守府司令長官	第三艦隊司令長官	聯合艦隊司令長官	軍令部總長	海軍大臣	送付先
八	—	—	—	—	—	二	部数
8/8	7/8	6/8	5/8	4/8	3/8	1/8	番號
						2/8	

六	五	四	三	二	一	日	經過概要 西要	
吳大分	分大	梓築 開中 法身	梓築 開中 法身	梓築 開中 法身	分大	在		所 氣象
二〇九〇 二〇四〇 二〇五〇	二〇九〇 二〇八〇 二〇〇〇	二〇九〇 二〇七〇 二〇五〇	二〇九〇 二〇五〇 二〇三〇	二〇七〇 二〇五〇 二〇五〇	二〇三〇 二〇二〇 二〇二〇	六時前 正午 六時後		天候 風速 向候
隊艦三第						務任般一		
隊戰空航三第						務任別特		
配置 教育	奔着艦訓練	奔着艦訓練	應急 查	奔着艦訓練 天候不良 取止	奔着艦訓練	整備 作業	經過概要 記事	
二五番浮標繫留			荒天 準備	魚雷塔 戴				

四	三	二	一	九	八	七
六						
三〇〇 二七〇 二五〇	二〇〇 一八〇 一六〇	一六〇 一四〇 一二〇	一二〇 一〇〇 八〇	八〇 六〇 四〇	四〇 二〇 〇	〇 〇 〇
二〇〇 一八〇 一六〇	一六〇 一四〇 一二〇	一二〇 一〇〇 八〇	八〇 六〇 四〇	四〇 二〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇
二〇〇 一八〇 一六〇	一六〇 一四〇 一二〇	一二〇 一〇〇 八〇	八〇 六〇 四〇	四〇 二〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇
隊 艦 三 第						
隊 戰 空 航 三 第						

配置教育	整備作業	整備作業	午後保安教練	整備作業	整備作業	分隊訓育	整備作業	整備作業	4P=繫留機
半艇入湯上陸許可	彈藥塔載 主計科戰給品酒保 物品塔載	主計科貯積品外 各科物品塔載	機整備工事	中短波方位測定	半艇陸上行軍 （無雨者六時同） （雨者七時同）	半艇陸上行軍 （無雨者六時同） （雨者七時同）	全	修理品工廠持上 還納品陸揚	右

三	二	一〇	一九	一八	一七	一六	一五
出	分大	分大	分大	山德	分大	分大	吳
〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
隊	艦	三	第	三	第	三	第
戰	空	航	三	第	三	第	第

捷一號作戰從事	飛行機收容 〇六〇 出港	飛行機收容 〇七五八 大分入港	整備 〇八五九 大分入港	整備 〇九五九 大分入港	配置 〇六三九 大分出港	整備 〇八一二 吳入港	整備 〇八一二 吳入港
		生糧品搭載(三七)	重油搭載	神 菅 奈 送拜式施行			生計科生糧品四〇七塔 各料重品搭載 洋船入場上陸許可

二五	二四	二三
----	----	----

撃

三三 二七 〇〇 〇五	入時 二五 二七 二九 〇〇 〇四	日雲 四〇 二六 二〇 〇二	半晴 二二 〇〇
四二 〇八 〇〇 〇〇	五五 二七 〇〇 〇〇	半晴 四〇 〇〇 〇〇	日雲 二八 二六 二五 〇〇
	二五 〇九 〇〇 〇〇	日雲 四〇 二八 二五 〇〇	日雲 二九 二五 〇〇 〇〇

出

隊

捷
一號
作戰
從事

--	--	--

人員、現狀
職員官氏名

分隊	乘組	主計長兼分隊長	同	同	分隊長	砲術長	軍医長	航海長兼分隊長	通信長兼分隊長	内務長兼分隊長	機關長	艦長	職
第四十三分隊長	艦長 附	主計長兼第四分隊長	第一分隊長	第四十一分隊長	第七分隊長	砲術長	軍医長	航海長	通信長兼分隊長	内務長	副長代理機關長	艦長	常務配置
大尉	大尉	大尉	同	大尉	同	少佐	中佐	同	同	中佐	大佐	少將	官
目良徳彌	杉木幹正	澤田直又	山下三郎	島崎 高	清崎恭之	郡山三良	濱崎静雄	矢野房雄	高木政一	田村健太郎	高田 満	具塚武男	氏名
同	十月二十五日 戦死		同	十月二十五日 戦死			十月二十五日 海軍中佐	同	同	十月二十五日 戦死		十月十五日 海軍少將 十月二十五日 戦死	記 事
右			右					右	右				

宗巻

乘組	砲術士	同	荒瀨幸保	
同	同	同	吉村理	
同	同	同	石丸文義	
分隊長	第三分隊長兼衛兵司令	中尉	金丸光	
同	第四分隊長士	中尉	古寺一郎	十月三日戰死
乘組	第七分隊長	中尉	八橋光良	
(乘衣糧組)	掌衣糧長	中尉	植木元一	十月三日退艦戰死
乘組	電路長	同	鹿島輝雄	
分隊長	第六分隊長	中尉	堀場清一	
(掌經理長)	掌經理長	中尉	秦年市	
乘組	操舵長	同	中村英男	十月十五日退艦重傷
分隊長	第十一分隊長	中尉	柏壽一	
(掌看護長)	掌看護長	衛中尉	井上嘉六	同 右
乘組	第四十三分隊長士	大尉	黒山常正	十月五日戰死
同	第五分隊長	同	高井太郎	
分隊長	第八分隊長	大尉	岩本平作	

(掌) 内務長	同	同	(掌) 砲長	同	(掌) 工作長	同	(掌) 航海長	同	同	同	同	同	同	同	乘機組長	乘機組長
掌内務長	機械長	第一分隊長	掌砲長	電信長	掌工作長	第三分隊長	掌航海長	操砲長	第四十一分隊長	副長附兼甲板士官	通信士兼第四分隊長	航海士兼第五分隊長	航海士	機關長附	掌機長	掌機長
同	同	同	同	同	同	同	同	少尉	同	同	同	同	同	同	中尉	中尉
佐々木岩雄	前川初治	野田定雄	福原勝美	河村道治	奥村長尾	廣澤又一	大嶋龍藏	前重勝	佐野寛	足立喜次	辻満壽夫	都野隆司	川島裕	篠原益雄	吉村武夫	吉村武夫
	十月五日戦死		同	十月二十五日戦死		同	十月二十五日戦死	十月五日着任	十月五日戦死			十月二十五日戦死	十月二十五日退艦	十月二十五日戦死		

四

同	同	同	同	同(常暗辨長)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	乘組
常水測長	伍長	第土分隊長	第二分隊長	常暗辨長	第二分隊長	同右	第四分隊長	庶務主任兼第四分隊長	第四十二分隊長	第六分隊長 <small>副長附 甲校士官</small>	第六分隊長	同右	第二分隊長	第一分隊長	第三分隊長	
伍番長	機番長	教番長	同	同	兵曹長	同	習計官	正少尉	同	同	同	同	同	同	少尉	
水本正王	大志茂秀夫	石河富次	窪谷茂樹	水本保	野村保吉	高取道武	中村敏久	太富永弘	下平正義	釘貫一郎	吉田勝信	松山枚夫	森周司	峯真佐雄	黒石民平	
	同	十月五日戦死		十月五日戦死		十月五日為天院(戦傷)	十月五日戦死			十月五日戦死		同	十月五日戦死		十月六日退避(若月)	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	乘組
第一分隊長	電路長	第三分隊長	第六分隊長	水測長	機械長	電氣長	掌氣象長	應急長	第四分隊長	同	第二分隊長	工業長	補機長	第八分隊長	第十分隊長
同	同	同	同	兵曹長	同	機曹長	同	兵曹長	衛曹長	同	兵曹長	同	機曹長	救曹長	
老永了治	山本幸村	武谷寛	保坂誠一	白鳥総	籠田俊次郎	高岸茂	朝倉伴治	榊原光雄	伊藤正治	高山實	森重了	吉岡寛貞	石井精	富田卓	椎葉徳吉
同	同			同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
右	青喜 戦死			右	右	青喜 戦死		右	青喜 戦死		右	右	右	青喜 戦死	

崇徳

以下士官兵及其他員數

科別	水兵科	看護科	主計科	其他	合計
戰死者	四一	九八	一八	二	七九
生存者	四六〇	一〇五	一八二	三	八一八
總員數	八七一	二〇三	三六四	六	一六一二

乘組	第二分隊士	兵曹長	植原 茂	
同	第三分隊士	同	網本 岩一	
同	機長	機曹長	大垣 壽翁	
同	兵	長	加藤 義雄	
同	副長附兼甲板士官	予備生徒	久保井 光春	十月二十五日戦死
同	同	右	坪内 正	九月三日戦死
同	止齒科	同	武藤 齊	
同	止齒科	同	武藤 齊	

<p>□ KdB 二一三六</p>	<p>□ KdB 十月十八日 三</p>	<p>發 日時 元</p>	<p>三 令 達 報 告</p>
<p>□ KdB GF</p>	<p>2YB KdLMB</p>	<p>受 日時 宛(通報)</p>	
<p>一. KdMB 電令作第五三號 二. 2YB 出雲津備ヲ完成スベシ 三. KdMB 電令作第五號ニ依ルル、派遣ヲ取上ム 四. 2YB 編入 634 号ヲ本職直下トス</p>		<p>今 達 報 告 等</p>	
<p>電報</p>	<p>電報</p>	<p>種 別</p>	

<p>大分 日 三〇日 十六日</p>	<p>2 AF 一五三六</p>	<p>GF 一六日 一一</p>
<p>高雄 6FG8 2AF</p>	<p>1KdF 2AF</p>	<p>48 / 1KdF 2AF</p>
<p>司令 隊一七〇在依リ高雄ニ進出(第一連) 一七〇。零戦二八(内爆装二六) 種目五三</p>	<p>發 2AF 首席參謀 KdF 打合セ、結果 3AF 展開基地ヲ 左、通變更 一 3AF 全部鹿児島(差當リ可能兵力零) 二 3AF 零戦四。鹿屋艦爆九國分天山 三 鹿兒島水爆一三 指宿</p>	<p>GF 電令作第三四群 一 KdF 司令官ハ 3AF / 及 4AF / 基地作戰可 能(航セハ)全カヲシテ 6FG8 指揮官、作戰 指揮ヲ受ケシムベシ</p>
	<p>電報</p>	<p>電報</p>

<p>。八。一。四</p>	<p>高雄 。八。九</p>	<p>十月十七日 。七。九 KF スル スル 見張所</p>	
	<p>PP GF CF</p>		
<p>敵ハ上陸ヲ開始セリ。 〇八。〇。</p>	<p>GF電令作特第一四號 捷一號作戦警戒</p>	<p>敵戰艦一隻驅逐艦六隻又見ユ 我ヨリ、方位六五度 水道ニ侵入シツ アリ。 〇六。五。 敵ハ、復ニテ上陸準備ヲナレツアリ。 〇七。五。</p>	<p>二。〇。八。〇。(〇九。〇)大分(鹿見島)各一二三。 小線ニ於テ補給(六三。頃)高雄着 三。航路(時刻)ト(〇九。〇)一。小線(二三。一) 石垣島(一五。〇)一。台東(一六。五)一。高雄 (二六。三。〇)</p>
<p>電報</p>	<p>電報</p>	<p>電報</p>	<p>電報</p>

<p>GF 〇九〇八</p>	<p>GF 〇八四八</p>	<p>十月十七日 〇八四七 比島部隊 指揮官</p>	
<p>GF 2AF 2F 5F</p>	<p>KdF</p>	<p>GF 6F</p>	<p>比島北B GF 2F</p>
<p>能判KAsハ敵ヲ断セラルニ付能 隊塔戴)出連海備ヲ進メ置カレ度</p> <p>算アリ北ノ場合IB突入ニ策應</p> <p>開始セリ敵ハ本格的中南比ニ上陸</p> <p>今朝ハ敵ハ「スルアン」島ニ上陸</p> <p>發令參謀長</p>	<p>EBGF電令作第三五ニ辨 ハ中南比方面ニ對シ 金カラ急速出撃ヲ準備ヨナセ</p>	<p>比島部隊電令作第三三七辨 S作戰發動 〇八三〇</p>	
<p>電報</p>	<p>電報</p>	<p>電報</p>	

<p>GF 参 長</p>	<p>?</p>	<p>口 GF</p>
<p>大 口 2F 1KdF</p>	<p>古 仁 屋 驅 濤 特</p>	<p>口 1KdF 2F</p>
<p>(一) 只今、島方面ト反定セバ、予日物全明前トナル見込ニ付、右ニ策應、KdMBハ十九日午前出要ニ至リ、夕刻、ルソシト海峡東方ニ進出、トトシ、準備ヲ進ノラレ度、</p> <p>(二) KdMBニ進出、トトシ、準備ヲ進ノラレ度、</p> <p>(三) 海下艦龍鳳ハ、隊ヲ除ク、欠</p>	<p>信電令作第九ニ號</p> <p>一、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>二、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>三、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>四、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>五、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>六、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>七、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>八、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>九、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>十、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>十一、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>十二、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>十三、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>十四、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>十五、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>十六、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>十七、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>十八、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>十九、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p> <p>二十、驅濤特ニ一六、二二八、三三九、及香</p>	<p>YBGF電令作第三五三號</p> <p>八速ニ出要、フルス、ニ進出セヨ</p>
<p>電報</p>	<p>電報</p>	<p>電報</p>

一六〇〇	□ KdB	一六〇〇
▷ 15/45	▷ 3/15 4/15 11/15 634 KdMB	□▷ GF 3/15
KdMB 電令作第11号	KdMB 電令作第7号 出撃手兵力ニ多摩 松 ヲ追加ス 同シク 第2項 別ノ收容兵力ニ 中富方面残留 兵力ニシテ母艦余着可能兵力ヲ 追加右兵力ハ十九日中ニ大忠ニ 転出スベシ	準備ヲ完成シ八島諸地ニ集合スベシ 中富方面 鹿児島島 西方面残留 兵力及 中着奈艦可能兵力ハ 別ニ定免新ニヨリ之ヲ 收容ス 三尔余艦隊ハ現任務ヲ續行スベシ
	電報	電報

<p>□ 1YB</p>	<p>□^{一六} 1KdF^五</p>	<p>□ Kd3</p>
<p>□^大 25d海</p>	<p>□^{各PP} Kd3GF</p>	<p>60/19 634/19 653/19</p>
<p>電令作第五六群 (清相欠)ハアルネイニ進出 機セヨ</p>	<p>明十八日。九三。將旗ヲ瑞鶴復飲ス</p>	<p>二十日午前詳細後令 三ノ可能全機(九七式艦攻ニッ合ム)ハ 無裝完備上(艦攻ハ爆装トス) 一九日中大令ハニ転進スベシ 瑞鶴、瑞鳳、千歳ニ分載 瑞鶴、瑞鳳 收容ニ關シ尤通定ム</p>
<p>電報</p>	<p>電報</p>	<p>電報</p>

195

<p>GKF 一三一〇</p>	<p>〇九四二</p>	<p>十月十八日 〇六三五</p>
<p>?</p>	<p>口 秋風 佐鎮 KdF</p>	<p>五十鈴</p>
<p>奈GKF参謀長 一八日朝来「クワロハ」方面天候不良ニテ、 詳細不明ナルモ、左ノ情報アリ、 敵「ロイテ島」「サマル島」方面ニ上陸ヲ企 圖シアルコト略確ニシ、 「ロル」ヲクハニ沖掃海艇四隻掃海 中ノモ、如シ、 ニ「サマル島」ガ「ブ」ニ敵大型軍艦行 動ニツツアリ、</p>	<p>奈GKF司令官 秋風、桐、ハ出撃準備ヲ完了至急 (連立共二十日早朝迄到達スル如ク内海 西部(八島锚地)ニ回航セヨ 行動予定知ラセ</p>	<p>五十鈴ハ出撃準備完了次第八島 锚地ニ回航スベシ</p>
<p>電報</p>	<p>電報</p>	<p>電報</p>

□ KdB	□ ^{二〇〃} KdB ^{四六}	□ ^{二〇〃} GF ^一	□ ^{一九〃} KdMB ^{四八}	
KdMB	KdB	□ GKF	□ KdMB	
倉倉 指揮官 指揮官	捷電令作第 一辨作戦發動	GF電令作第 三九辨 マニラニ進出スヘシ ハ高雄ニ於テ 補給上成ル ベク連ニ	3/5 KdMB 電令 第一辨 旗艦ヲ一時大 浪ニ指定ス	三「スリガオ」海峽 ノオノ島南端 敵艦上機ヲ 攻撃下令セリ (電話傍受)
(電報)	電報	電報	電報	

電報

8080

137

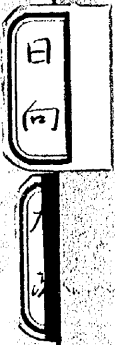
軍艦日向戦時日誌

自昭和十九年十月一日
至昭和十九年十月三十一日

海軍力戦部第三八號
日向検査第三八號 一〇

土丸八日

軍艦日向



6080

138

参

(一) 諸調査事項

(二) 戦

真訓

三、令達報告等

二、人員、現状

一、作戦経過概要

目次

日向

五、船体兵器機関等

(目次終)

一 作戰經過概要
 (一) 一般經過概要

昭和十九年十月

軍艦日向

自十一日 吳ニ在リテ修理補給整備ニ従事
 自十二日 岩國沖ニ在リテ訓練整備ニ従事
 自十三日 八島ニ在リテ出撃準備ニ従事
 自十九日 比島東方海面ニ出撃準備ニ従事
 自二十日 吳ニ在リテ出撃準備ニ従事
 自三十一日 吳ニ在リテ出撃準備ニ従事

(二) 經過概要

二	一	日	在所	氣象	視界	向風	候	任務一般	任務別特	經過概要	要記	事
			于前六時正	晴	視	于後六時	晴					
			于前六時正	晴	視	于後六時	晴					
			于前六時正	晴	視	于後六時	晴					

九 八 七 六 五 四 三

吳

一 〇〇〇	二 〇〇〇	三 〇〇〇	四 〇〇〇	五 〇〇〇	六 〇〇〇	七 〇〇〇	八 〇〇〇	九 〇〇〇
一 〇〇〇	二 〇〇〇	三 〇〇〇	四 〇〇〇	五 〇〇〇	六 〇〇〇	七 〇〇〇	八 〇〇〇	九 〇〇〇
一 〇〇〇	二 〇〇〇	三 〇〇〇	四 〇〇〇	五 〇〇〇	六 〇〇〇	七 〇〇〇	八 〇〇〇	九 〇〇〇

三

第
第

航

四

				整 備 作 業			
				貯 蓄 品 添 載			

二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八
24°41'N 124°52'E	18°45'N 125°49'E	22°24'N 122°5'E	25°37'N 122°37'E	29°59'N 124°19'E	33°32'N 122°44'E	島	八
五二 〇七九 〇〇〇	二二 〇七二 〇〇〇	五二 〇一三 〇〇〇	一一 〇五〇 〇〇〇	一一 〇五三 〇〇〇	一一 〇九七 〇四〇	一一 〇四四 〇六〇	二〇 〇五五 〇〇〇
二八 〇二五 〇〇〇	二七 〇六六 〇〇〇	二六 〇七五 〇〇〇	二七 〇五〇 〇〇〇	二一 〇五五 〇〇〇	二一 〇三九 〇〇〇	二二 〇三七 〇〇〇	二一 〇六一 〇〇〇
二七 〇七五 〇〇〇	二七 〇七八 〇〇〇	二六 〇六八 〇〇〇	二五 〇五六 〇〇〇	二一 〇四〇 〇〇〇	一一 〇二〇 〇〇〇	二二 〇七〇 〇〇〇	二二 〇七〇 〇〇〇

艦 三 第

空 航 四 第

			出撃 航海中	出撃 航海中 高角砲機銃	出撃 準備 重油塔載	出撃 準備 重油塔載	〇五四(出巻各種訓練後) 二二三(八島)入巻 生糧不塔載
村松少尉戦死 外下士官八名戦場		〇八四五靖國神社例 大衆送行式			重油塔載	重油塔載	

日 向

二人員ノ現状
一職員官氏名

職	三	三	二	二	二	二	
	一	〇	九	八	七	六	
	吳		223687 2405E		島大 美	24411W 2405E	
	一 二四四 〇九〇	一 五七六 〇五〇	二 五〇四 〇〇〇	二 六二二 〇〇〇	一 二〇五 〇〇〇	一 二〇六 〇〇〇	半 睛
主	一 五〇八 〇五〇	一 〇七三 〇五〇	二 〇六八 〇〇〇	二 〇四五 〇〇〇	二 〇六四 〇〇〇	二 〇七六 〇〇〇	半 睛
	二 二〇五 〇〇〇	一 五七六 〇八〇	二 五〇六 〇〇五	二 〇四四 〇一〇	二 〇六〇 〇〇〇	二 〇六四 〇九五	曇
	隊						
	隊						戰
官	隊						
	戰						
氏	隊						
	戰						
名	隊						
	戰						
記	隊						
	戰						
事	隊						
	戰						
	整備作業		二四一 吳入港	一三五 吳二回航	一三〇 薩川港	米子 航海中	
				一五三 故上水松井秀夫 (瑞鳳) 水葬	IKP 司令部移来	一九四五 故村松中尉 水葬	

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部	電機部
付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付	付
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安
田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田
政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政	政
喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜	喜

日

同	同	同	同(掌衣糧長)	采組	同	承命服務組	采組	同	同	同	同	同	承命服務	同	同	采組
砲術士	機銃群指揮官	高射長付		刺巨儀刺手	航海長付	電測部付	暗子士	同	機銃群指揮官	同	同	同	高島砲擊幹部付	同	同	航海長付
同	同	少尉	主少尉	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	少尉
千葉	山田	黒田	西邊	寺衣	難波	藍波	成田	村松	山口	西川	大石	芳野	山崎	高井	直井	
信次	幸次	五郎	登藏	百合	辰吉	辰吉	敏夫	幸太郎	開治	徳夫	徳夫	芳平	純義	清義	正数	
								三子五子 三子五子 三子五子								

同	同	同	同	同	采	同	配	同	同	同	同	同	同	同	同	采
	(掌通信長)				組		屬									組
電 路 長		同	同	機銃群指揮官	應急長	同	飛行長付	同	主計長補助官主少尉	機械部付	攻務士	機銃群指揮官	航海士	副長附兼甲板士官	判的士少尉	
同	同	同	同	同	兵曹長	同	宇藤孝三	去見尉	小島達也	目黒利雄	川上猪一郎	及川正明	引地正明	佐藤安	宮崎襄	
飯々木 三郎	盛見 定郎	三田 政雄	三田 政章	白野 藤男	藤井 義雄	河川 篤	望月 喜一郎	三十一尾 茂								
				右 大退 異 職	右 同	右 同	右 同 四月 着任									

日
向

十月四日
海軍大臣

十月二十日
吳模長官
(日向伊勢)

官房事務課長六九〇号(吳模機密才七号三五四)
軍艦日向伊勢噴進砲裝備件割令
吳海軍工廠及吳海軍本部ヨリ首題件割令

二事要領

一 艦尾砲臺乗出ヲ設ケ二糧二八聯裝噴進砲
六基ヲ裝備ス

二 後艦三噴進砲射撃手装置ヲ二基裝備ス
八前請項内附スル二事ヲ施シス

三 所要兵器(艦分)

試製十二糧二八聯裝噴進砲 六基

同左試製噴進砲散弾(二門三十五発)

九五式砲壳射撃手装置

詳細ニ関シテハ海軍艦政本部長ヲシテ

所屬ノ向ニ通牒セム

後署

文書

四 参 考

(一) 諸調査事項
特記事項ナシ

(二) 戦 術
捷一掃作戦 戦斗詳報参照

(三) 真 実

(一) 艦 長 畧

(四) 艦 全 貌 畧

(二) 兵器施設 畧

(三) 作戦関係 特ニナシ

五 船 体 兵器 機関 等

捷一掃作戦関係ハ戦斗詳報参照

日 向

(1) 艦戰準備 (第一作業)
 該項事項ナシ
 (2) 船体ノ損傷
 特ニナシ
 (3) 改造修理新設

工事	内容	着手月日	竣工予定月日	理由
浮力保持対策工事	塔梁員待機所支柱	九二八	一〇一	官房艦機修工事 九手訓令
第十兵員室	支柱新設	一〇三	一〇一	
中部防雷具曳航金物		一〇二	未定	破損ニ付
機銃甲板ノ噴進砲甲板間通路	新設	一〇三	未定	
噴進砲甲板ノ水管	新設	未定	未定	不具合ニ付
噴進砲彈格納所	新設	一〇一	一〇二	
六番機銃彈藥庫通風装置	改造			

日 六 卷

① 區 劃 建 造 (第 一 休 業)

該 區 劃 建 造

② 主 事 長 官 文 章 發 行

該 主 事 長 官 文 章

六 區 劃 建 造	一 休 業	一 休 業	一 休 業
該 區 劃 建 造	該 區 劃 建 造	該 區 劃 建 造	該 區 劃 建 造
三 休 業	三 休 業	三 休 業	三 休 業

一 休 業	一 休 業	一 休 業	一 休 業
該 區 劃 建 造	該 區 劃 建 造	該 區 劃 建 造	該 區 劃 建 造
三 休 業	三 休 業	三 休 業	三 休 業

九 休 業	九 休 業	九 休 業	九 休 業
該 區 劃 建 造	該 區 劃 建 造	該 區 劃 建 造	該 區 劃 建 造
三 休 業	三 休 業	三 休 業	三 休 業

ハ主要兵器改造修理新設
砲術科

工	事	改	各	着手月日	竣工予定月日	理由
十二種三八聯裝噴進砲六基新設	噴進砲照準裝置二基裝置	二塔右位用俯仰起動并修理	二塔左樞軸乾節修理	九 二八	一〇 一〇	摩損甚三付 漏水三付

外一一口件

航海科

二式哨儀發射器修理	同	右全受器修理	三式磁輪羅針儀修理	九 二五	一〇 五	同軸金物不良三付 作動封不良二付 進從送作動不良
-----------	---	--------	-----------	---------	---------	--------------------------------

外七件

通信科

大

主要兵器ノ消耗及補給
ノ砲術科

名	種	消耗量	補給量	記
三十六糧砲	常裝藥	一〇七		
同	三式燒散彈	一〇七		
三七糧高角砲	通常彈藥包	五八		
同	對着彈藥包	二五		
二三糧噴進砲	彈	二二		

事務科

九三式四号防毒面具三件	一〇	三一	二	五	検査ノ上修理
-------------	----	----	---	---	--------

九三式一号無線方位測定機修理	一〇	三	一〇	二	補助線切斷
九〇式超短波無線電話機修理	一〇	三〇	二	五	彈片ニ依ル切斷
假称三式一号電波探信儀水文	一〇	五	一〇	二	官機才四六二号
流弊電機新設					依リ

日 向

整備料

二式五〇番通常爆彈一型	四七		
九九式二五番通常爆彈一型	四四		
一式二五番三子爆彈一型改一	一〇		
三式二五番八号爆彈一型	二		
七七耗機銃曳跟彈藥包	一三〇〇〇		

二式爆雷改二

同	一〇		一二車應ヨリ流用 灯替切動中使用
---	----	--	---------------------

二五耗機銃通常彈藥包	二七三〇〇		
同 曳跟彈藥包	九四七〇		
一三耗機銃普通彈藥包	七〇〇		
同 曳跟彈藥包	二〇〇		
同 徹甲彈藥包	三〇〇		

備 品

常
日
句

同	七七耗機坑	通常彈藥包	一	二	〇	〇	〇
同	燒夷彈藥包	一型	五	〇	〇	〇	〇
同	同	二型	三	〇	〇	〇	〇
同	徹甲彈藥包		五	〇	〇	〇	〇
同	七七耗機坑	徹甲彈藥包一型	四	七	八	〇	〇
同	同	通常彈藥包一型	二	〇	三	〇	〇
同	同	曳引彈藥包一型	三	五	〇	〇	〇
同	九九式二耗機坑	一子演習彈藥包	一	〇	〇	〇	〇
同	同	三子曳引通常彈藥包改四	一	五	〇	〇	〇
同	同	三子曳引通常彈藥包改四	二	六	〇	〇	〇
同	同	一子曳引彈藥包改四	二	五	〇	〇	〇
同	九四式航法目標灯	一子通常彈藥包改二	一	五	〇	〇	〇
同	同	三型	三	〇	〇	〇	〇
同	零式航法目標灯	一型	一	〇	〇	〇	〇
同	芥煙投彈	改四 黑煙	六	〇	〇	〇	〇

陸

場

(三) 機 関

(4) 燈 戰 準 備 (第一作業)

特ニナシ

主 要 機 関 ノ 整 備 及 使 用

人 機 械 部

同	射 出 機 装 薬 包	同	候 辨 彈 改 三 箭	零 式 航 法 目 標 彈 一 型	九 〇 式 吊 光 投 彈 一 型 青 白 赤	試 製 吊 光 照 明 彈 大 型 改 一	九 六 式 着 水 照 明 灯	各 煙 投 彈 改 四 黄 煙
一〇五型	一〇四型	星 赤 白 青	白 黄 黑	一 型	一 型 青 白 赤	一 型 改 一		
八〇〇	四〇〇	一 五 〇	九 〇 〇	二 〇 〇	一 〇 〇	一 〇 〇	三 〇 〇	六 〇 〇

月 日 項	目	作 業 時 ノ 状 態	作 業 員	作 業 時 数	作 業 進 度
-------	---	-------------	-------	---------	---------

大 法

海軍
日
向

<p>五、九 各推進器</p>	<p>五、六 艇側炭素(タール) 低圧箱側炭素(タール)</p>	<p>五、三、一、二、三、四 掃 主復水器</p>
<p>定期二付潜水検査スルニ各翼 失調部ヨリ約四程度迄 富士堂附着セル付全部剥 落ス</p>	<p>調整復旧</p>	<p>現狀確認、海水部開放 検査スル 保護軟鋼有効ニ作用シ規定 重量以外ノモリ前部三個後 部三個前部三個後部三個 アリ ニ、三、五、七、九、一〇、一五、二〇、二五、三〇、三五、四〇、四五、五〇、五五、六〇、六五、七〇、七五、八〇、八五、九〇、九五、一〇〇、一〇五、一一〇、一一五、一二〇、一二五、一三〇、一三五、一四〇、一四五、一五〇、一五五、一六〇、一六五、一七〇、一七五、一八〇、一八五、一九〇、一九五、二〇〇、二〇五、二一〇、二一五、二二〇、二二五、二三〇、二三五、二四〇、二四五、二五〇、二五五、二六〇、二六五、二七〇、二七五、二八〇、二八五、二九〇、二九五、三〇〇、三〇五、三一〇、三一五、三二〇、三二五、三三〇、三三五、三四〇、三四五、三五〇、三五五、三六〇、三六五、三七〇、三七五、三八〇、三八五、三九〇、三九五、四〇〇、四〇五、四一〇、四一五、四二〇、四二五、四三〇、四三五、四四〇、四四五、四五〇、四五五、四六〇、四六五、四七〇、四七五、四八〇、四八五、四九〇、四九五、五〇〇、五〇五、五一〇、五一五、五二〇、五二五、五三〇、五三五、五四〇、五四五、五五〇、五五五、五六〇、五六五、五七〇、五七五、五八〇、五八五、五九〇、五九五、六〇〇、六〇五、六一〇、六一五、六二〇、六二五、六三〇、六三五、六四〇、六四五、六五〇、六五五、六六〇、六六五、六七〇、六七五、六八〇、六八五、六九〇、六九五、七〇〇、七〇五、七一〇、七一五、七二〇、七二五、七三〇、七三五、七四〇、七四五、七五〇、七五五、七六〇、七六五、七七〇、七七五、七八〇、七八五、七九〇、七九五、八〇〇、八〇五、八一〇、八一五、八二〇、八二五、八三〇、八三五、八四〇、八四五、八五〇、八五五、八六〇、八六五、八七〇、八七五、八八〇、八八五、八九〇、八九五、九〇〇、九〇五、九一〇、九一五、九二〇、九二五、九三〇、九三五、九四〇、九四五、九五〇、九五五、九六〇、九六五、九七〇、九七五、九八〇、九八五、九九〇、九九五、一〇〇〇</p>
<p>四</p>	<p>八</p>	<p>二五</p>
<p>五</p>	<p>一二</p>	<p>二〇</p>
<p>完了</p>		

又 罐 部

又 機 部

百一	各缶室外側及 下防蝕水に画	現状確認ノタメ検査スル ニ缶室所共僅カニ湿度 アリ溜水ヲ見ズ	三〇	九
百八	上部重油カクシ 漏洩部修理	漏洩部模稜修理	工廠作業	／
百七	六号缶収部掃除	内部一般僅カニ軟性湯 垢附着セル外清浄ナリ	一七	四〇
百八	バルブ拾管	腐蝕衰朽甚シク新 品ニ造換（五本）	工廠作業	／
完了				

百九	四号水圧ポンプ	高压滑車固蒸気圧力過昇 スルタメ蒸気部開放検査スル外 側高压滑車下部光用零トナリテ	七	三〇
----	---------	---	---	----

	<p>此異状ヲ認メス編心器帶環ト 編心器棒ハ同ニ鉄金ニ五耗 ノモリ押入該光用ヲニ五耗ニ調 整ノト復旧(吳工廠)</p>	一六	三〇
<p>百九二三四五番 水压ポンプ</p>	<p>現状確認タテ開放検査 スルニ水垢多量ニ被着セル異 状ヲ認メ掃除手入ノト復旧</p>	吳工廠	
<p>百百一號 冷却機</p>	<p>従来彈火藥庫冷却及呈収 冷房専用ナリシヲフライン 管一部改裝ニ依リ彈火藥 庫冷却用又ハ製氷機ノ何 レニモ使用可能ノ如クセリ</p>	吳工廠	
<p>百百製氷機</p>	<p>定期分解検査施行 異状ヲ認メス</p>	四	一ニ〇
<p>百三第一運貨艇</p>	<p>クランクシテ拡張環摩耗甚 シクヤ南西ト換裝セリ</p>	三	三六

完了

電機部

103	前部水圧機補助 蒸気ロレントラフ	作動不良トナリタムタ メ開放検査スル針等 リ不良トナリタル外異状 ヲ認メス針并揚合ノ止 復旧良態	三	一 二
106	103 104 105 106 107 蒸気漏洩部 修理	諸弁コックノ開放検査 ヲ行フ蒸気ロレントラフ 自動弁不良ノ外異状 ヲ認メス	一	三 四
105	103 104 105 106 自動閉込器開放検査	107 弁電機用モ、主 刷子部焼損外良態	四	一 八
104	103 104 直流自動転換器 (二部交流弁電機用)	絶縁物及主接触 片焼損	三	五
		完了		

六

(107) 工作

機関待機

期	主 機 械 の 制 式 及 数	間	
		最大戰速	計
航海中 (時一分) (二五節以上) 又ハ全力)	即時待機(一)	自九ノ一〇一 至二九ノ一〇一 最大戰速 二三ノ四七 三四ノ四六	計 三二ノ三三
十五分待機(一)	即時待機(一)	最大戰速 三〇ノ九	三〇ノ九
三十分待機(一)	即時待機(一)	最大戰速 二二ノ節	二二ノ節
一時間待機(一)	即時待機(一)	最大戰速 二一ノ三〇	二一ノ三〇
五分又三十分待機(一)	即時待機(一)	最大戰速 二一ノ三〇	二一ノ三〇
三十分待機(一)	即時待機(一)	最大戰速 二一ノ三〇	二一ノ三〇
一時間待機(一)	即時待機(一)	最大戰速 二一ノ三〇	二一ノ三〇
二時間待機(一)	即時待機(一)	最大戰速 二一ノ三〇	二一ノ三〇
四時間待機(一)	即時待機(一)	最大戰速 二一ノ三〇	二一ノ三〇
碇泊中 (時一分)	即時待機(一)	最大戰速 二一ノ三〇	二一ノ三〇

日 旬

右手背第二度熱傷	
左環單純骨折	

(C) 傳染病

十月十日總員細菌學的檢便施切、知Y型、F型赤痢菌保有者各一名弁見、吳病ニ送院ス、續弁患者ナシ

ニ防疫傷病防止其他保健ニ関スル事項

- (A) 十月十日總員細菌學的檢便施切、陽性ニ名他ハ陰性
- (B) 上旬工廠陸岸繫不留中附近ニデング熱弁生ニ付、艦内ニラマキラ
 一ヲ撤布シ、蚊取線有ラ使用防疫ニ努メタリ
- (C) 下旬出撃中、艦内防疫作業徹底セシメ、衛生狀況良好ナリキ

兵員ノ勞働慰勞ニ休養等ノ概況
 上旬吳ニ在泊シ、適宜ニ上陸ヲ許可セラレ、充分ナル休養慰勞ニ
 得タルト認ム

六

戰海沖島菲		所轄		戰死傷者表	
職	名	軍艦	日	向	傷
司令官	少將 松田 千秋	左側頭部	機銃彈	々片	創
指揮官	少尉 村松 幸太郎	左下腹部	機銃彈	貫通	創
見張士	同 直井 正教	左肩部	機銃彈	々片	創
都員	上曹 中山 彌生	側頭部	右肩部	機銃彈	々片
同	水長 坂口 欽一	右腕部	機銃彈	貫通	創
見張員	一曹 藤田 周一	右大腿部	機銃彈	々片	創
番長	一水 豊崎 幸房	右前胸部	機銃彈	々片	創
九番機銃	二曹 城野 義雄	前胸部	機銃彈	々片	創
運轉員	一機 神城 光男	後頭部	左腕部	機銃彈	傷
		右腕部	機銃彈	傷	左腕部

昭和十九年十月二十五日 戦死傷者表

戦斗ニ関スル事項
 八月二十五日、我軍三隻戦死一名、軽症八名（別表添）
 八月二十七日、他艦小戦、傷者二四〇名、收容収一七九名、八月三十日、吳表ニ送渡
 別表

日 句

會計經理
摘要

1. 臨戰準備 (第一作業)

一月十八日 骨付生獸肉外九件

十七七

急據出撃準備, 為準備日受

2. 臨戰準備 (第一作業)

(A) 貯糧品約十日分烹炊所附近ニ格納

(B) 一月十八日布團特殊椅子等約三七車應鳥ニ托シ陸揚

出納 補給 狀況

(A) 經費出納 現況

經費受込 高

經費支拂 高

(増俸支給額)

(増給支給額)

七八一五八^口七三

一六七三一四六

一七八四七

(B) 被服糧食

大

日 向

(1) 糧 食

一〇、六

精米外七件

八〇七

一〇、〇

骨付生獸肉外十五件

三〇七

一〇、七

生果物外一件

三〇七

吳帶ヨリ受

(2) 被 服

一〇、七

下士官軍衣袴
当番外套

一七〇個
四〇個

外八件

吳帶ヨリ受

兵 金

残 高

一、二七、八六一

上 遭 難 者 二 對 ス ル 給 與

(A) 三 七 日 ヲ リ 三 日 間 辨 当 一 五 七 〇 〇 個 作 製 衣 支 給

(B) 被 服 物 品 支 給 額

瑞 鷲 へ

略 帽

五〇〇

作 業 衣 袴

八三

防 暑 服 甲

四〇〇

靴

一〇〇七

171

6 戦斗給興

(A) 飲料 水 サイダー、甘酒、乳酸飲料、コーヒー等支給ス
 (B) 應急食 サイダー二本、乾パン二食分支給ス
 (C) 辨当 一〇八〇〇個 夜間並ニ戦斗中絶時ニ作製配食ス
 (D) 酒保物品 出撃前 禪一、和手一、菓子八、煙草一〇酒ニ合宛配給ス
 戦斗中塵紙一、密柑缶一、外四件
 恤兵金ヨリ支出ス

大定

(終)

瑞鳳ハ	靴	六八	靴下	五〇〇
略帽	二四二	作業衣袴	七〇	
防暑服甲	三二五	靴	八五	
半靴	二〇二	靴下	五〇〇	
若月ハ		靴	二五	
防暑服甲	五〇〇	略靴		